

# 総務環境 委員会



谷村委員、牛丸委員、西田委員、水門委員、北村委員、岩垣委員  
中田委員長、渡辺副委員長

## 委員会審査の方針

今年度より委員会構成が変わり、新たに「総務環境委員会」としてスタートいたしました。

所管は企画部、総務部、財務部、環境政策部、会計室、消防、選挙管理委員会・監査委員・公平委員会・固定資産評価審査委員会の所管に関すること及び他の常任委員会の所管に属さない

こととなっております。

議会は、提案される議案の審議・審査において、行政に7つの論点情報の開示を求めています。

その内容は

- ① 政策立案の背景
- ② 提案に至るまでの経緯
- ③ 他の自治体の類似する政策との比較検討とその内容
- ④ 市民参加の実施の有無とその内容
- ⑤ 総合計画との整合性
- ⑥ 財源措置
- ⑦ 将来にわたるコスト計算

です。これらは、議会が適正な決定を行う前提として、十分な審議を行うための条件となるものです。

特に、高山市の根幹となる政策にかかわることが多い委員会ですので、この点に留意して活動していきます。

また、活発な議員間討議に軸足を置き、市民皆様のご意見にも耳を傾け、議事機関とし

ての委員会の責任を果たしていきます。

## 政策課題

6月の委員会において、高山市が直面している政策課題について話し合い、今後の調査事項として次の8項目を取り上げる事としました。

- ① 大学連携
- ② 公共施設等総合管理計画
- ③ 指定管理者制度の見直し
- ④ 公契約条例の制定
- ⑤ 新ごみ焼却施設整備
- ⑥ 未利用地の活用
- ⑦ ジオパーク
- ⑧ 地方創生、人口減少対策

それぞれの項目について市の現状を調査し、9月までに共通の認識を整えることとし、①を水門委員、③を北村委員、④を岩垣委員、⑤を渡辺副委員長、⑥を谷村委員、⑦を西田委員、⑧を牛丸委員が担当して調査・分析することとしました。なお、委員長は全体を統

括し、②については全員で対応することとしました。

その上で委員会としての政策提言に備えることとしました。

## 人口減少対策

移住政策と人口の下げ止まりで注目されているのが島根県隠岐郡海士町です。

我が国は高齢者の増加と生産年齢人口の減

少で、現役世代が減少していることが大きな問題となっております。

協働のまちづくりを進める中で、高山市の人口減少対策には何が不足しており、どの面での強化策が必要なのか、委員会として現状を比較し海士町を視察調査する方針です。

視察結果については、次号のぎかいだよりで報告します。



藻谷浩介氏の講演資料より参照